

講師プロフィール

【氏名】

conditioning studio VIVALUCK! 代表 恒松伴典

【プロフィール】

医療・介護業界に20年以上従事。離職率77%の介護事業所の管理者になった際、作業療法士の専門領域である脳科学をベースに、脳科学的離職防止メソッド『脳チング』を考案し実践。結果、1年で離職率77%→7%まで改善させ、その年度末には0%となる。

人手不足で離職率が高く、年齢・キャリア、資格の有無など様々な人が集まる医療介護業界で結果を出したこの離職防止メソッドは、「どの業界でも使える！」と評価が高い。

講演や研修の後に、「即日スタッフの気持ちが意欲的に変わる」と大企業・中小企業のリーダーからの評価もあり、口コミで講演・研修依頼が広がっている。

人が共通する「脳の仕組み」をベースに話を進めるため、わかりやすく、面白く、組織の成長や生産性の向上に必要な「人的資本経営」の本質部分を学べる内容となっている。

・ホームページ：vivaluck-nouching.com

【講演、研修実績】

福岡県産業保健支援センター労働衛生管理研修会 講師

愛知銀行「あいぎんビジネスクラブ」講師

(株)九電工グループ 安全大会 記念講演 講師

リーガロイヤルホテルグループ労働組合連合会役員研修 講師

(株)スタッフサービス・ビジネスサポート スタッフ研修 講師

西中国信用金庫 にししん経友会・経営アカデミー 講師

佐賀県鳥栖市商工会議所総務懇話会 講師、久留米市・宗像市・筑紫野市役所 健康福祉部職員対象セミナー講師、その、労働組合対象研修・企業安全大会講師 など

【担当/得意分野】

脳科学、心理学、予防医学、行動心理学、メンタルヘルス、コミュニケーション研修、対人関係構築力、部下育成、リーダーシップ、OJT、コーチング、ワークライフバランス、など

【資格・著書】

・作業療法士、一般社団法人コーチングプラットフォーム認定コーチ

・健康経営アドバイザー（認定番号21002548）

・シナプソロジー研究所認定 シナプソロジーアドバンス教育トレーナー

・著書：amazon kindle出版にて『コロナ生活に役立つ！くすっと笑えて感情を刺激する！早口言葉18』



講座案①

【講座タイトル&サブタイトル】

《全スタッフ対象》

目の前の業務と理念の繋げ方。

～理念を元に高め合うチームになる脳の使い方～

【概要】

企業理念の唱和が発声練習になっていませんか？

理念は組織のミッションであり、ビジョンです。

「この業務行くと、お客様の何の役に立ち、どんな気持ちになるのか？そしてその方の人生にどう影響するのか？」を明確にし、理念との繋がりが理解できるとスタッフは淡々と仕事をこなさず、目的をもって動き始めます。

これを普段の業務で言語化できることにより、貴社らしい風土となり、お客様に選ばれる施設となります。

専門分野である行動心理学、脳科学の視点から、分かりやすく、楽しく、即実践できる内容をお届けいたします。

《参考動画》

<https://youtu.be/TXFesBo0hlo>



※研修内容は打ち合わせの中でアレンジしてまいります。

【研修内容の目次】

- ① お客様が本当に求めている事とは？
《グループワーク》心理学・脳の仕組みから分かりやすく導き出す。
- ② ①と私たちの理念がどのように繋がっている？
《グループワーク》みんなで考えてみる。→全体シェア。
- ③ 目の前の業務と理念との繋がりを文章にしてみる。
《個人ワーク》常に業務で口に出して伝え合えるよう言語化する。
- ④ 理念を元に、認め合い、高め合う、チームの作り方を知る。
「〇〇」の言葉を使うとチームが盛り上がる！→ゲームで体験。

【受講すると期待される成果】

- スタッフが理念に立ち返りながら業務を行うので、チーム力が上がり成長する組織となる。
- お互いが認め合い、高め合う組織となるので、離職率の低下が期待できる。
- ワークやゲームを交えながら楽しく研修を行なうので、研修後にスタッフ間の人間関係が更に良くなる。

講座案②

【講座タイトル&サブタイトル】

《管理職・フロアマネジャー対象》 スタッフが最速で育ちリーダーが楽になる！ 脳科学的指導メソッド

【概要】

スタッフに能力の差があるのはなぜでしょう？それはスタッフ自身のスキルだけではなく、指導の差によっても生じるのはもちろんご存じかと思います。

人の脳の仕組みは共通しており、知識や技術を習得する脳の流れを理解すれば新米リーダーでも最速でスタッフを育成することができます。

このティーチングやコーチングスキルを脳の仕組みによって行う『脳チング』は脳のイラストを使いながら部下を育成するメソッドで、すぐに現場で使用できるメソッドです。

人の本質である『脳』から人財マネジメントを考える新たな切り口で、理論と経験をもとにワークを交えながらわかりやすくお伝え致します。

【研修内容の目次】

- 1 人が考えて行動する脳の仕組み、6つの流れ。
 - ・ 人の本質、脳の仕組みを知る。
 - ・ 最速で仕事を覚える伝え方とは？
- 2 脳の上下の仕組みから部下のモチベーションを上げる
 - ・ 人の本能に働きかける目的、目標の作り方。
 - ・ 部下やクライアントの本能、感情を刺激する伝え方。
- 3 3つの『存在承認』を使い離職を防止する。
 - ・ 人が辞める3種類の存在承認不足とは？
 - ・ 辞めなくなる3種類の存在承認の伝え方。
- 4 ハラスメント防止にも！相手が不快に感じない指摘の仕方。
 - ・ 脳の仕組みに沿って言葉を当てはめる方法。
 - ・ リフレーミングから3つのフレームに言葉を入れる方法。

【受講すると期待される成果】

- 離職率の低下が期待できます。
- 管理職の伝え方と部下の反応が即日好転します。
- お互いに高め合う関係が生まれ、生産性が向上することが期待できます。

講座案③-1

【講座タイトル&サブタイトル】

《管理職・フロアマネジャー対象》

離職率77%→7%を実現した
脳科学的会話メソッド。

【概要】

私が新米マネジャーとして赴任した現場は離職率77%でした。私は医学専門知識である脳科学をもとに『人がやる気を出して行動するメカニズム』をメソッド化し、1年で離職率を77%→7%まで改善することができ、その年度末には0%となりました。現在ではこのメソッドを様々な現場でご活用いただいております。

このメソッドは、脳のイラストを使って部下の思考と行動をマネジメントするため、新米からベテランマネジャーまで、どなたでも即日活用することができます。

人の本質である『脳』から人財マネジメントを考える新たな切り口で、理論と経験をもとにワークを交えながらわかりやすくお伝え致します。

【研修内容の目次】

- 1 人が考えて行動する脳の仕組み、6つの流れ。
 - ・ 人の本質、脳の仕組みをわかりやすく知る。
 - ・ 部下が最速で仕事を覚える伝え方とは？
- 2 脳の上下の仕組みから部下のモチベーションを上げる
 - ・ 人の本能に働きかける目的、目標の作り方。
 - ・ 部下やクライアントの本能、感情を刺激する伝え方。
- 3 3つの『存在承認』を使い離職を防止する。
 - ・ 人が辞める3種類の存在承認不足とは？
 - ・ 辞めなくなる3種類の存在承認の伝え方。
- 4 ハラスメント防止にも！相手が不快に感じない指摘の仕方。
 - ・ 脳の仕組みに沿って言葉を当てはめる方法。
 - ・ リフレーミングから3つのフレームに言葉を入れる方法。

【受講すると期待される成果】

- 離職率の低下が期待できます。
- 管理職からの伝え方と部下の反応が即日好転します。
- お互いに高め合う関係が生まれ、生産性が向上することが期待できます。

講座案③-2

【講座タイトル&サブタイトル】

《管理職・フロアマネジャー対象》

離職率77%→7%を実現した
脳科学的会話メソッド。
～若年層の離職傾向編～

【概要】

私が新米マネジャーとして赴任した現場は離職率77%でした。私は医学専門知識である脳科学をもとに『人がやる気を出して行動するメカニズム』をメソッド化し、1年で離職率を77%→7%まで改善することができ、その年度末には0%となりました。現在ではこのメソッドを様々な現場でご活用いただいております。

このテーマでは特に『若年層の離職の傾向』に沿ってお話をいたします。

人の本質である『脳』から人財マネジメントを考える新たな切り口で、理論と経験をもとにワークを交えながらわかりやすくお伝え致します。

【研修内容の目次】

- 1 若年層の仕事に対する意識変化と離職理由について。
- 2 人が考えて行動する脳の仕組み、6つの流れ。
 - ・ 人の本質、脳の仕組みをわかりやすく知る。
 - ・ 部下が最速で仕事を覚える伝え方とは？
- 3 脳の上下の仕組みから部下のモチベーションを上げる
 - ・ 人の本能に働きかける目的、目標の作り方。
 - ・ 部下やクライアントの本能、感情を刺激する伝え方。
- 4 3つの『存在承認』を使い離職を防止する。
 - ・ 人が辞める3種類の存在承認不足とは？
 - ・ 辞めなくなる3種類の存在承認の伝え方。

【受講すると期待される成果】

- 若年層(1～3年目)の離職率の低下が期待できます。
- 管理職からの伝え方と部下の反応が即日好転します。
- お互いに高め合う関係が生まれ、生産性が向上することが期待できます。

講座案④

【講座タイトル&サブタイトル】

《管理職向け》

リーダーのためのメンタルコントロール術

【概要】

リーダーは、スタッフのためのメンタルヘルスケア、部下の異変に気付くラインケアを役割上遂行します。

しかしリーダーのメンタルヘルスケアは誰が行なってくれるのでしょうか？しかもリーダーのストレスは特有のものなので、リーダーに必要なメンタルケアを行う必要があります。

私自身が離職率77%の過酷な現場でリーダーを行っていた経験をもとに、効果を実感した脳科学的メンタルコントロール術をわかりやすくお伝えします。

【研修内容の目次】

- 1 脳科学的に正しいストレス解消法とは？
- 2 残業ゼロで労務管理困難。スタッフが前向きに効率よく働き、リーダーが楽になる指示の仕方。
- 3 リーダーは孤独。心のつながりを感じるリーダーに必要な最強の会話術！

【受講すると期待される成果】

- リーダー自身がメンタルコントロールを出来るようになり、鬱などの休職を減らすことができます。
- スタッフが前向きに効率よく動きはじめ、リーダーが楽になります。
- 部署間のつながりが強くなり、組織全体が活性化することで生スタッフのエンゲージメントの向上と生産性の向上に繋がります。

講座案⑤

【講座タイトル&サブタイトル】

《全スタッフ向け》

今日からできる！
脳科学的職場のストレスマネジメント

【概要】

仕事のストレス、対人関係のストレス、皆さんはどのように対応していますか？

小さなストレスでも長期間に及べば休職・離職に繋がります。
この研修では私の専門分野である脳科学をもとに、脳の仕組みから、今日からできる「気持ちを楽にする方法」をわかりやすくお伝えします。

【研修内容の目次】

- 1 ストレスのメカニズムは？
- 2 脳科学的に正しいストレス解消法とは？
- 3 脳仕組みに沿った、今日からできる3つのストレスマネジメント。
- 4 対人関係におけるストレス対処法。
- 5 ストレスを成長につなげる思考術。

【受講すると期待される成果】

- スタッフがメンタルコントロールを出来るようになり、鬱などの休職を減らすことができます。
- スタッフが前向きに効率よく動きはじめ、作業効率の向上に繋がります。
- スタッフ間における対人関係のストレスが減り、組織の生産性の向上に繋がります。

講座案⑥

【講座タイトル&サブタイトル】

《全スタッフ向け》

職場の雰囲気が明るくなり生産性の向上につながる！
脳科学メソッド『シナプソロジー®』とは？

【概要】

朝礼、作業前、会議前。部社内・部署間のコミュニケーション活性！ヒューマンエラーの防止。多くの企業で導入されている脳活性化メソッド『シナプソロジー』は自然と笑いが生まれ仕事に必要な脳の部位をウォーミングアップすることができます。

仕事の効率アップや組織力の向上に役立つ『シナプソロジー』の体験と、メンタルヘルスや生産性の向上に関する検証結果、活用法をお伝えいたします。

【研修内容の目次】

- 1 『シナプソロジー®』とは？
- 2 肩こり腰痛に効果的な『シナプソロジー』体験
- 3 ヒューマンエラー防止に効果的な『シナプソロジー』体験
- 4 チーム力・生産性アップに効果的な『シナプソロジー』体験
- 5 抑うつ感、休職防止に効果的な『シナプソロジー』体験

【受講すると期待される成果】

- 仕事の色々な場面で活用することで、ポジティブな気持ちで仕事に取り組むことができます。
- コミュニケーションの向上により生産性の向上につながります。
- 研修自体が実技中心で、常に笑いが起きる内容です。なので研修に集中して参加することができます受講生の満足度も高い内容です。

講座案⑦

【講座タイトル&サブタイトル】

《全スタッフ向け》
まとめて出来る！
パワーハラスメントの思考の仕組みを知る。
パワハラスタッフに上手く伝える。
そして、スタッフのストレスマネジメント・
メンタルコントロールをする方法。

【概要】

ストレスチェック制度や通称パワハラ防止法。制度や対策を学んでも現場からストレスやパワハラが減らないという話はよく聞きます。なぜならばストレスや怒りは無意識に自動発動する感情で、その仕組みを理解しなければ対処できないからです。

メンタルヘルスケアで関係し合うテーマについて、すぐに使える感情のコントロール方法を脳の仕組みからわかりやすくお伝えします。

【研修内容の目次】

- 1 ストレスが生まれやすい脳の状態とは？
- 2 対人関係において怒りが生まれる仕組みと理由は？
- 3 部下の仕事に対して怒りが生まれる仕組みと理由は？
- 4 まとめて出来る！
パワーハラスメントの思考の仕組みを知る。
パワハラスタッフに上手く伝える。
そして、スタッフのストレスマネジメント・メンタルコントロール
をする方法。
- 5 ストレスから成長を生み出す方法。

【受講すると期待される成果】

- スタッフが自分自身でストレスケアを出来るようになります。
- リーダーがメンタルコントロールできるようになり、パワハラが減ることで離職を防止することができます。
- スタッフがお互いの多様性を意識し、アンコンシャスバイアス(偏見)がなくなることで、生産性が高まります(人的資本経営の促進)。

講座案⑧

【講座タイトル&サブタイトル】

《新入職員・全スタッフ向け》
ヒューマンエラーを防ぐ！
ミスを起こす脳の仕組み。
今日から出来る改善方法。

【概要】

うっかりミスやヒューマンエラーは脳の現象です。ミスに関係する脳の機能は主に、『記憶と注意機能』です。

その役割を知るだけで事前にミスを防ぐことが可能となります。この『記憶と注意機能』は通常は無意識に働いています。そのため無意識のものに「気を付ける」ことは難しく、「気を付けます！」だけではミスを防止することが難しいのです。

この内容は、ミスに関係する脳の機能をわかりやすく知り、『記憶や注意機能』に頼らないヒューマンエラー防止法を実践することができます。

脳科学を元に治療を行なっているリハビリ専門職が、あなたの現場に合ったヒューマンエラー防止方法をお伝えします。

【研修内容の目次】

- 1 記憶と注意機能から引き起こるミスの種類。
- 2 現場でミスが引き起こる脳の三大要因。
- 3 「ダブルチェック」ではミスがなくなる理由。
- 4 脳から見る「指さし確認」が重要な理由。
- 5 脳の働きから考えるヒューマンエラー防止方法。
- 6 実は第一に重要！心理的安全性とヒューマンエラーの関係について。

【受講すると期待される成果】

- 「忘れてた」を防止することができます。
- 「見落とし」「気づかなかった」を防止する方法が分かります。
- ミス防止に関係する脳の部分をウォーミングアップする方法が分かります。

講座案⑨

【講座タイトル&サブタイトル】

《全スタッフ向け》

「言った！」「言っていない！」
「そう聞こえた！」

コミュニケーションエラーが起きる脳の仕組み。伝達ミスからの重大事故を防ぐ！

【概要】

人はコミュニケーションにおいて短く伝えるために「省略して話す」性質があります。

そして聞く側は省略された内容を勝手に解釈して理解します。これがコミュニケーションエラーの正体です。しかもこれは無意識なので防ぐことは難しいものです。

この研修ではコミュニケーションエラーによるクレームや重大事故を防ぐために、脳の仕組みから対策する方法をお伝えします。

【研修内容の目次】

- 1 コミュニケーションエラーが起きる仕組み。
- 2 コミュニケーションエラーを起こさない考え方。
- 3 具体的な対策方法。
- 4 短い時間で端的に確実に伝わる伝え方。
- 5 実は第一に重要！心理的安全性とコミュニケーションエラーの関係について。

【受講すると期待される成果】

- クレームや重大事故につながるコミュニケーションエラーを防止することに繋がります。
- 相手の視点に立って伝える能力が身に付きます。
- 端的に確実に伝える能力が身に付きます。

講座案⑩

【講座タイトル&サブタイトル】

《デスクワーク業務向け》 オフィス・リモートワークの効率アップ！ オフの日も楽しめる一日の脳活用術

【概要】

リモートワークによる業務効率の低下は、様々な調査会社からも実態として挙げられています。またリモートワークから出社へ戻ってきている現状では、体力の低下による不安なども課題となってきております。

これらの問題の要因のひとつとして「体内時計と脳のリズム」が合っていないことが挙げられます。

この「体内時計と脳のリズム」に業務内容を合わせると、仕事の効率が上がりヒューマンエラーも少なることが期待できます。

この講座では現在の一日と理想の一日の流れを比較しながら、明日からすぐに実践できるようワークを交えて行っていきます。

《参考動画》

<https://youtu.be/TXFesBo0hlo>



【研修内容の目次】

- 1 脳と体の体内時計『サーカディアンリズム』について
- 2 仕事の効率を上げる午前の脳時間の使い方
- 3 ヒューマンエラーを防ぐ午後の脳時間の使い方
- 4 次の日の業務パフォーマンスを上げる夜の過ごし方

【受講すると期待される成果】

- 体内時計にあった業務を選択することで業務効率が上がり、労働生産性・人時生産性の向上が期待できます。
- 午後に発生しやすいヒューマンエラーの原因がわかり、対策に繋がります。
- 体内時計を理解することで、仕事のオンとオフを切り替えることができ、ワークライフバランスが整うことが期待できます。

講座案①①

【講座タイトル&サブタイトル】

**デスクワーク・作業姿勢が楽になる！
動きの法則に基づいた職場でできる
体リセット法。**

【概要】

工作中的の同一姿勢や偏った体の動きは肩こり腰痛の原因となり、作業効率を低下させてしまいます。

その状態を放置すると、ヘルニア、手足のしびれなど手術が必要なケースへ至り、休職や退職へ繋がってしまいます。

この研修は3つの動きの法則を使って、職場で簡単に出来る体リセット法をお伝えします。また、ただのストレッチの研修ではなくストレスと姿勢不良の関係についても詳しくお伝えします。作業療法士の私が解剖学・運動学・精神医学を元にいつも実践している方法です。

【研修内容の目次】

- 1 立位作業と不良姿勢の関係とリセット法。
- 2 座位作業と不良姿勢の関係とリセット法。
- 3 自宅で簡単に気持ちよくできるリセット法。
- 4 ストレスと不良姿勢の関係と対策。

【受講すると期待される成果】

- 肩こり腰痛が改善され、医療費や休職者の軽減が期待ができます。
- 動作効率が向上し、労働生産性の向上に繋がります。
- ストレスが体に及ぼす影響を軽減することができます。

講座案⑫

【講座タイトル&サブタイトル】

介護離職防止！30代から知っておくべき
介護の情報と仕事の両立。

【概要】

家族を急に介護する立場になったら、まず仕事を続けることができるか？を心配する方が多くいらっしゃいます。

しかし今の日本の制度では、正しい介護の知識を持つことで仕事を続けながら介護をすることは十分に可能です。

そのような知識を今から知っておくことで、介護や生活の不安による休職や離職を抑制することができます。

医療介護現場で20年以上働いてきた知識と経験をもとに、もしもの時の備え方と安心して仕事に集中できるための介護制度についてお伝え致します。

【研修内容の目次】

- 1 もしも急に介護をする立場になったら。
 - ・ どこに何を相談すれば良いか？
 - ・ 仕事は続けられる？
- 2 介護に関するお金の話
 - ・ 介護保険の仕組みと使い方とは？
 - ・ 手すりや車いす、介護用ベッドはいくら？
- 3 仕事を辞めずに無理なく介護をする方法
 - ・ 介護保険で使える在宅サービス。
 - ・ 自分の時間を確保するレスパイトとは？
- 4 介護負担が重くならないようなご家族への関わり方
 - ・ 脳と体の機能低下を予防する方法は？
 - ・ お互いに無理なく生活するコツ！

【受講すると期待される成果】

- 介護に関する正しい予備知識を持つことで、介護による休職や退職を抑制します。
- 介護による疲弊・ストレスを軽減し業務効率の向上を図ります。
- 介護予防に関する健康知識をつけることで従業員自身の健康意識を高めます。